

平成25年度岡山大学大学院 NMR ユーザーセミナー（秋）の御案内

日時 10月7日（月） 18:00-19:30

場所 工学部1号館 3階第6講義室

タイトル 核磁気共鳴装置の原理から応用まで

内容 核磁気共鳴装置（NMR）の原理と装置について理解すると、実際に使うときに役立ちます。本年度のセミナーでは装置の原理から装置の仕組み、測定のコツや注意しなければならないこと、さらに特殊な測定、大学院 NMR のローカルルールまで、NMR の初歩から応用まで幅広い内容を講義します。

本年度のユーザー試験（秋）の受験者は必習です。新規使用者は御参加下さい。また、NMR についてさらに理解を深めたい学生ユーザーの参加も歓迎いたします。

連絡・問い合わせ先：大学院自然科学研究科（工学）片桐利真

内線: 8 6 0 5、e-mail: tkata@cc.okayama-u.ac.jp



The First High Resolution "Supercon" NMR

After receiving his PH.D. at Stanford under Professor Block, Harry Weaver joined Varian in 1954. Here he developed the first superconducting NMR magnet using a niobium-titanium alloy. The result was the Varian HR-200, the HR-220 (shown here) and later the HR-300 high resolution NMR spectrometers.